

雜 錄

○本會主幹

本會主幹は久しく缺員のところ、今回幹事倉橋惣三氏主幹として湯原會長より依頼せられたり

○本會二月例会豫告

廣告頁掲載の如く、フレイベル會に於ては、來る九日(第二土曜日)午後一時半より東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て例会を開催す、當日左の講演あり、多數諸君の出席を望む

米國の婦人と子供

東京高等師範學校
附屬小學校主事 佐々木吉三郎君

○編輯だより

△今年は以ての外の寒氣に御座候、大分風邪に襲はれし方々も有之べく誌上を以て御見舞申上候
△巻頭の「園丁雜感」は毎號倉橋先生の御執筆に

かゝるものにて、宛然詩の形を以てせらるゝ先生の御高説は必ずや讀者諸氏に多大の感興と利益とを與ふること、存せられ候。

△「本眞劍」も亦倉橋先生の御執筆にかゝるものにて、先生の造次にも顛沛にも憂慮せらるゝ現代兒童の眞摯性の缺乏に對する御警告に有之候、よろしく讀者諸君の御熟讀を祈る所に御座候

△土川五郎先生の「リズムに就て」は新年號原稿として頂戴致し候ものに御座候が相憎締切後に入手候まゝ本號に掲載仕りたるにて候、「律動的遊戲」即土川といづれも様御存じの先生のリズムのお話に御座候へば是亦よろしく御熟讀の程願上候

△「亞米利加の保育界の現況」は實踐女學校附屬幼稚園の森まる子女史より頂戴仕りたる同女史宛の書翰より拔萃翻譯仕りたるものに御座候

△菅原先生の「眞向きと横向き」は本誌に於ける唯一の光彩に有之候引續次號以下に續稿を賜はる筈に御座候